

2021年11月2日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

Net Zero Asset Managers initiativeへの加盟について

野村アセットマネジメント株式会社（CEO兼代表取締役社長：小池広靖、以下「当社」）は、脱炭素社会の早期実現に向け、Net Zero Asset Managers initiative（ネット・ゼロ・アセット・マネージャーズ・イニシアティブ、以下「NZAMI」）^{※1}に加盟しました。NZAMIは、パリ協定の目標に沿って、2050年までに投資先企業の温室効果ガス排出量のネットゼロを目指す資産運用会社によるグローバルなイニシアティブです。

NZAMIは、2050年までのネットゼロを目指す企業への投資を積極的に支援する目的で、2020年12月に発足しました。当社は、気候変動問題に対する世界共通の長期目標としてパリ協定の趣旨に賛同しており、この目標を達成するための取組みとして、今般、世界的な資産運用会社のイニシアティブであるNZAMIに加盟しました。今後は責任ある機関投資家として、NZAMIと連携しながら、投資ポートフォリオにおける温室効果ガスの排出量ならびに吸収量の計測のほか、スチュワードシップ活動やステークホルダーとの連携強化、金融商品の開発などに戦略的に取り組むことにより「2050年ネットゼロ目標」の達成を目指します。

当社は、2021年10月25日に当社運用資産の温室効果ガス排出量に関する「2050年ネットゼロ目標」と「2030年中間目標」を発表しました^{※2}。この「2050年ネットゼロ目標」と「2030年中間目標」はNZAMIの加盟機関に求められているコミットメントの内容に整合した目標です。

当社は、健全な地球環境の実現を重要課題（マテリアリティ）の一つと特定しており、投資先企業の経営者との対話を通じて気候変動問題への取組みを促すなど、「投資の好循環（インベストメント・チェーン）」による脱炭素社会の実現を支えています。当社は今後も、責任ある機関投資家としてESG課題の解決に取り組みながら、世界のお客様から選ばれる日本を代表する運用会社になることを目指してまいります。

※1 産業革命前からの世界の平均気温の上昇を1.5℃に抑えるよう努力するというパリ協定の目標に沿った、2050年までの温室効果ガス排出量ネットゼロを目指す企業への投資を積極的に支援するグローバルの資産運用会社によるイニシアティブ。

※2 2021年10月25日付ニュースリリース「運用資産の温室効果ガス排出量に関する『2050年ネットゼロ目標』と『2030年中間目標』の設定について」をご参照ください。

<https://www.nomuraholdings.com/jp/news/nr/etc/20211025/nam20211025.pdf>

以上